県相同窓会

発行
県立相模原高校同窓会
相模原市横山1-7-20
発行責任者　佐藤功岳
編集責任者　真田哲道
郵便振替
横浜　8-22895

座談会

県相の変らぬ伝統を語る

――来秋母校創立30周年を迎える――

母校県相は、平成五年十一月に創立三十周年を迎える。市内相模原に進学校をという要望で創立され、昭和三十八年十月に創立許可を受け、同年十一月一日より学校事務が開始された。翌年四月より一期生が入学してからおよそ三十年の歳月が流れたことになる。

座談会では、親子で県相生の皆さんや先生方に登場していただき、県相の移り変わりや変わらぬ伝統について語ってもらった。

平成4年9月5日、市内中央浜しんで開かれた座談会

吉田充夫先生

小松崎久恵さん

北川　保校長

斉藤常任理事

佐藤季生さん

佐藤　会長

出席者の皆さん（敬称略）

県立相模原高校校長　北川　保
県立相模原高校元教諭　吉田充夫
県相同窓会会長　佐藤功岳
県相同窓会常任理事　斉藤一美
県相卒業生（一期）　佐藤季生
県相在校生（二年）　佐藤謙太郎
県相卒業生（一期）　小松崎久恵
県相在校生（一年）　小松崎扶美恵

在校生の皆さん

小松崎扶美恵さん

佐藤謙太郎君

佐藤(功)　来年の十一月には、わが母校県相も創立三十周年を迎えます。三十年と聞くと私ども一期生としては、だいぶ歳をとったなという感じもしますが（笑）。今日、ご出席の佐藤（季）さんや小松崎さんのところはそれぞれに息子さん娘さんが現在県相で学んでいらっしゃるそうですね。もうそんな時代になってしまったのかとお二人とも感慨無量のところがあるんじゃありませんか。

佐藤(季)　そうですね。……ただ、私どもの時代は勉強したといっても今の子供達とは比べものになりません。同じ学校へ行っているとはとても思いませんよ（笑）。

佐藤(功)　われわれだってかなり勉強したんじゃないの？「木曜試験」とかいって頻繁に試験やらされましたよね。

佐藤(季)　しかし、今は細かい試験はありませんが、黙っていても勉強しています。

佐藤(功)　そうですか。小松崎さんはいかがですか。

小松崎(久)　ええ、何していたらいいんでしょうか、娘の入学式の時に娘の知らない校歌を知っていて口ずさめるというのは、いいものでした。もちろん大声では唄えないので、心の中ですけどね、なつかしさが込み上げてきました。

佐藤(功)　なるほど、それはステキなお話ですね。高校の入学式で親が知っていて唄えるというのはあまりないでしょうからね。

ところで、吉田先生は、昭和四十三年四月から二十年間県相で教えていたと伺っていますが、赴任された当時の生徒さんの印象はいかがでしたか。確か五期生からですよね。

吉田　はい、私は当時相模台工業から赴任してきましてね。生徒の印象は、基本的にはあまり変わっているとも思いませんでしたが、県相の生徒は少しばかり意欲的に勉強しているなという感じでしょうかね。

佐藤(功)　斉藤さんは、八期生で吉田先生から国語を教わったんですよね。それで現在もその影響で国語を高校で教えているんですか（笑）。

斉藤　そうですね、そうとも言えるかな（笑）。現在は緑あって上溝南高校の同僚として席を並べています（笑）。私はもともと高校時代は英文科志望でしてね。それがたまたまというか、国語のテストの成績が悪かった。そうしたら吉田先生から「今回の国語の試験で学年の最低は斉藤だ」と公式発表がありました（笑）。何か頑張らなくてはと発奮するものが込み上げてきまして、一生懸命国語に励みました。そのお陰で先生から「今回の試験、学年で最高は斉藤」と吉田節を聞くことができました。そんなこともあって、浪人もしまして、先生から「君は国文化に行きなさい」ということになりました。この頃は、仲間から授業がよく似ているって言われますよ（笑）。

当時は、吉田先生ばかりでなく他の先生方の授業面白かったですね。印象に残っています。それから、卒業してからは先生方が対等に一人前扱いしてくれて紳士的ですよね。

吉田　そんなに授業が面白くできたのは八期生だけですよ。急にクラスが増えて、先生方を手こずらせたからですよ（笑）。八期だったと思うな、プレハブ校舎ではなかった？　C棟ができ上がる年プレハブがつくられて二クラス入っていたよ。

斉藤　そうではありませんでしたね。

吉田　そうか、それじゃあ九期だったかな、ともかく急にクラスが増えての対応策。

佐藤(功)　僕らは、上溝高校のプレハブ校舎で入学試験を受けましたね。校長先生は、今年から県相に来られた訳ですが、印象はいかがでしょうか。

北川　そうですね、頭のきりかえが早いですね。私が来てから球技大会がありまして、それはかなりの馬鹿騒ぎというか、お祭り騒ぎをするんですが、後々まで尾を引かない。パッと変わる。それはさすがですね。そういう学校はそう多くはないですよ。今から相翼祭が見ものです。昔から勉強のできる生徒というのは、姿や形、簡単に言えば服装ですね、それを第三者が見て、ああなるほどと判断できたものですが、今は県相でも女性徒の服装なんかも短いスカートの子もいれば長いスカートの子もいて、だいぶ幅ができたと思います。ですから、最近は、外見はよくできる子といってもちょっと見にはすぐ分からないんですが、今お話したような頭の切りかえの早さを見せるところですね、そこで分かります。これは、かなりの集中力がないとできません。

吉田　そうなんです。そこなんです。県相のよいところは、私ども教師に五十分授業をさせてくれるところなんです。始業ベルが鳴るとすぐ授業が始められました。五十分でも授業内容が足りなくて、放火後、補習をしましたが、帰る生徒はおりませんでしたね。よくついて来てくれましたね。感謝しております。それが県相の生徒の良さですね。今もそれは生きているんじゃないですか？　今でもベルが鳴れば教室にいますか。

小松崎(扶)　はい、そうです。教室に入っています。

斉藤　それがいいですね。僕たちもそうだったけれど、独特の世界ができていますよね。

佐藤(功)　一期生が偉かったんだよね（笑）。勉強もするけれども、それ以外にも一生懸命やりますね。運動するだけという生徒はいませんね。今の学校生活はどうですか。

佐藤(謙)　授業が終わって、野球の練習をして後は家に帰って寝るだけです。

佐藤(功)　それじゃあ昔と同じだね（笑）。

佐藤(季)　いや、昔と今じゃ生徒のレベルが違うから、結構、変わってきているよ県相は。親の方とは比べものにならないよ。

佐藤(功)　そうかなあ、しかしそれじゃあまりに淋しすぎる（笑）。昔は、校舎の窓もアルミサッシじゃなくてすきまの空いていてホコリの入ってくる鉄の窓枠でした。入学試験はさき程お話したように上溝高校のプレハブ校舎。血と汗がしみこんでいますよ。グラウンドだって我々がつくったんじゃないですか、石拾いなんかしながらね。そんな一期生から始まって、来年は学校も三十周年を迎えます。まったく月日のたつのは早いものです。学校では、どんな行事と考えていらっしゃいますか。

親子そろって県相生の皆さん

来年は30周年

北川　そうですね。学校では今、内部で三十周年の準備委員会を開いてこれから実行委員会を組織しようという段階です。三十周年までは内々ですみましたけれども、三十周年となると、七五三「ですので、対外的な催しをとも考えていますが、準備期間が短いので心配しています。式典、アトラクション、祝賀会、それと記念誌を考えていますが、これから方針を決めて動き出すところなんです。

平成五年十一月一日と開催日が決まっていますのでね。体育館の改修工事が決まれば、それに合わせて日延べもできますが、ちょっと流動的でしてね。いろいろハッキリしたことが決まれば、また同窓会の皆様にご協力いただけるとありがたいんですが……。よろしくお願いします。

佐藤(功)　ええ、同窓会も学校の式典に合わせてお手伝いできるよう考えておりますので、こちらこそよろしくお願いします。佐藤（季）さんも同窓会の二十周年の折りはかなりご協力いただきましたので、また引き続き三十周年でもご協力をお願いしますよ（笑）。

佐藤(季)　はい、承知しました。

佐藤(功)　今日は、お忙しい中をご出席していただきましてありがとうございました。

（了）

写真／真田哲道（一期生）
記録／福田文子（八期生）
構成／山口秀夫（六期生）

平成5年度総会を左記にて開催します。

平成5年5月16日(日)午後3時より
於母校
議題
平成4年度決算承認の件、その他。

県相同窓会
会長　佐藤功岳

会員各位

なつかしさに

校歌を唄う

授業がよく似てきた

伝統となった生徒の集中力

住宅のことならダイワハウスへ
植村工業(株)
代表取締役　植村茂敏（3期生）
相模原市橋本7-11-5　☎0427(72)4425

あかつき旗店
TEL0427-51-0345(代)
FAX 0427-51-0346
神奈川県相模原市星ヶ丘1-3-15
専務取締役　佐藤剛生（3期生）
○営業品目○
旗・幕・のぼり・のれん・腕章
半天・提灯・名入タオル・胸章
うちわ・たすき・カップ・トロフィー・各種装飾用品他

土木・舗装工事一式
(有)石原組
石原　美智子（10期生）
神奈川県相模原市下溝1988　☎0427(78)0184

会長あいさつ

同窓会長
佐藤　功岳

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

景気が低迷している今日皆様のお仕事はいかがですか。

去る三月一日、本会は第二十六期生四二九人を迎え九、四五七人となりました。

さて、母校は外壁を塗り替え、風がふくと隙間から埃がふき込み、掃除をしたばかりの机に埃の化粧を許していたあのスチールサッシが、密閉度の高いアルミサッシに取り替えられ姿を新たにしております。

そして、校長先生も中村先生から北川新校長に代わられました。

本会も、今年五月の総会にて後記の通り監査役の増員を図り、より適正な運営を目指しております。

昭和三十八年十一月一日相模原市内唯一の普通高校として母校は誕生しました。翌三十九年四月一日、入学した私たちの県相は、畑や雑木林の中に勇姿（？）を誇っておりました。

目を閉じると、ぬかるみの通学路や、石ころばかりのグランドが、彷彿として参ります。

このようにお話しすれば判りの通り、明年平成五年は母校創立三十周年を迎えます。

従いまして本号は創立三十周年を企画いたしました。記念行事等は、母校と共同にて開催する考えでおりますが、事業については、まだ未定でございます。

母校とよく相談の上運営させていただきますので、その折はどうかご協力の程お願い申し上げます。

校長あいさつ

学校長
北川　保

本年四月、中村校長の後任として茅ヶ崎高等学校からまいりました。

県北地区の伝統ある名門校に赴任し、名誉であると同時にその責任の重さを痛感しています次第です。

本校創設当時の我が国は東京オリンピック・東海道新幹線・首都高速道の建設に代表されるように戦後の荒廃から立ち直り、急速に経済成長を遂げていた時代でした。

農村から都市への人口移動と戦後のベビーブームとが重なり、本県でも高校不足が叫ばれておりました。

当時一クラス五十五名の学級編成で過密な中での授業が行われていました。

科学技術教育の振興が要請され、高校の教科内容も変わり、その教授法も盛んに研究されました。

本校創設からこの間、価値観の多様化、情報化など社会の変動激しく、高校も多くの問題を抱えて現在に至っています。

この中で本校が地域の期待に応え、今日あるのは、先生、生徒、父母の尽力された結果であり、同窓生の母校に対する熱い支援のお陰だと思います。

昨年サッカー部がインターハイ出場に際しては、物心両面で激励いただいたと聞いております、心よりお礼申し上げます。

さて、学校五日制、新指導要領移行を控えて、今後の本校の有り方を求め、伝統の上にさらなる発展を期して行かねばなりません。

来年の創立三十周年記念行事は、本校の歴史を振り返り、次への決意を表わすよい機会であります。

その準備も開始いたしました。

PTA・同窓会のご協力ご支援を戴き有意義な記念行事に成りますよう念願しております。

今後共母校発展の為ご支援くださるようお願いします。

県相生 たずねて…

「美」の使者より女の時代

門馬淳子（八期生）

エステに行くために門馬さんのマンションの階段を上がっていく。そして「こんにちは」と言いながらドアを開けると、玄関にすでに彼女が立っていて明るい声で「いらっしゃい」と迎えてくれる。たぶん彼女は私の階段を上がる靴音を聞き分けてすぐに玄関に立つのだろう。営業の仕事をする私は内心たいしたもんだなと思う。やはり、お客様を迎える時の最初の笑顔は営業という仕事にはとても大切なものだ。

彼女、門馬淳子さんは八期C組の卒業生だ。旧姓は三戸さん。この名前を聞くと胸ときめかす男子同窓生も多いだろう。八期のマドンナだった人である。どちらかと言えば、男子にはうるさがられていた私には、うらやましかりの人だった。ところが今は主婦としてがんばりながら一生懸命仕事をしている同志だ。彼女はナリス化粧品のビューティーコンサルタントで自宅でエステティックサロンを開いている。五年前から始めたそうだが、出産などで本格的に力を入れてからは二年位だそうだ。彼女の下で仕事をしている仲間が8人、お客様は一五〇人だそうだ。「女性に美しくなってもらいたいの。私は美の使者なのよ。」と彼女は言っているが、一人一人のお客様に心身になってめんどうを見てあげている。

あげくの果てには美容上の悩みだけでなく、人生の悩みも打ち開けて、涙をこぼしていく人もいるそうである。この文章を書いている私もその一人なのだが。そしてエステの後、「きれいになったわねぇ。」と彼女に言われると、実際商品も良いのだろうが、前より二、三倍はきれいになったような気がして、またがんばろうという気になるのである。そんな彼女の人柄を慕って仕事をする仲間も増え、お客様もここ数ヶ月でうなぎ登りに増えて、彼女は今本当にいそがしそうだ。それでも、ドアを開けて見せてくれる笑顔は輝くように美しい。「これからは女の時代よ。大きくなろうね」と力強くはげましてくれる言葉には彼女の努力と自信が溢れている。

自分で一つの販売所を作るのが夢だそうだ。きっと彼女ならいつかその夢はかなえられるだろう。もしこの記事を読んで興味を持たれた女性はぜひ鶴野森のグリーンハイツにある彼女のサロンを訪ねてみて欲しい。そこは様々な女性の涙と喜びを配合した「美」のサロンである。

文／福田文子（八期生）

国際協力でニジェールへ

天野和広（十一期生）

ニジェールという国を御存知ですか。

ニジェールは西アフリカの内陸国で国土の80％が砂漠という乾燥地帯で日中は毎日が40度を越えてしまいます。汗もすぐに蒸発してしまうような所ですが、私は国際協力事業団の海外青年協力隊員としてこの国で物理と化学の高校の教師を二年間勤めました。

出発前の四ヶ月間猛特訓しただけのフランス語で教壇に立ったのですから、今考えてもよく生徒から不平の声が上がらなかったと思います。

現地の高校生は、県相と同程度の学力を持ち、時に鋭い質問もあり、言葉の障害以上に困った時もありました。しかし一度授業が終了すると彼らは人なつっこくその屈託のなさと明るさが私を二年間なんとか頑張らせてくれたのです。

国際協力が話題に多くのぼる昨今ですが、援助の方法などまだ日本では発展途上にある部分も多いかと思います。その分野での歴史が浅いため、仕方のない部分もあります。しかしその中から現地の実状にあった援助を日本もできることでしょう。今は最も基本的な事、人と人のつきあいを大事にしたいと考えています。

私がアフリカに行ったところで彼らが変わっていくなどと派遣される前から思っていませんでしたが、アフリカの彼らも現在の私の生徒らも私を通じ、お互いの国をわずかでも知ってくれたら十分ではないかと思います。

帰国して三年も過ぎてしまうとあの灼熱の太陽の感覚や、ニジェール人の笑顔を忘れかけてしまいそうでしたが、この文を書いていくうちにあの頃が懐しく感じられ、よい時間となりました。

ニジェールでの授業風景

ご退転任職員（敬称略）

中村菊一（校長）〈退職〉

在職中は大変お世話になりました。おかげ様で無事定年退職をすることができました。これからは、旧職員の一人として、県相を見守っていきたいと思っています。同窓会の一層の御発展を祈ります。（中村）

和田　勇（理）〈退職〉

県相での二十七年間、物理の授業を担当できたことは多くのすばらしい卒業生との出会い、数々のなつかしい思い出と共に、いま深く喜びに感じています。卒業生各位の益々のご発展とご健康を祈念し退職のご挨拶とします。（和田）

志村春雄（理）〈津久井高校へ〉

大谷　勝（事務長）〈川崎労働センターへ〉

県相には十六年間、講師の期間も入れると実に二十一年間の長きにわたりお世話になりました。その間、すばらしい方々にお会いし実りある人生学習をさせていただきました。県相と同窓会の益々の御発展をお祈りします。（志村）

山下光雄（数）〈大和西高校へ〉

多くの、知的でバイタリティーにあふれた生徒達に囲まれ、教えることの楽しさを十二分に味わった五年間でした。ここでの貴重な経験を新しいバッグにつめ、二十一年目の旅に出ました。Good Luck!（山下）

五十嵐　務（音）〈荏田高校へ〉

在任の六年間で何も形あるものが残せなかったのが残念です。合唱部も結局出来ず、頭でっかちの人間になってほしくないというのも、別の事と誤解されたようです。心・気持・情緒を大切に生きて行きたいですね。（五十嵐）

田村裕司（社）〈厚木南高校へ〉

県相はドラマに出てくる健全学校のモデルのような印象があります。学業、部活、学校行事にと活躍する生徒の姿は好感の持てる反面、学校教育の現場のなかでは一握りの部類に入るのだと常に自分を戒める日々でした。（田村）

石井雅彦（保体）〈向大高校へ〉

山本美和（理）〈十日市場小へ〉

長い間、お世話になりました。四年生の担任をしています。殆ど一日中しゃべっているので声が枯れそうですが、充実した毎日を送っています。今後の県相のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。（山本）

退職に際して

同窓会担当草野先生ごくろう様でした。

草野耕治

県相に在ること前後二十数年、顧みれば、正に一炊の夢、数多くの素晴らしい生徒との交わりが懐かしく万感交々到る…。

中国の俚言に「水を飲む時、井戸を掘った人を想起す」とありますが、同窓会の今日の活動に瞠目する時、若冠二十才の会長が社会的に非力な会員を擁して、その運営に努力した往時の姿が回想されます。年経る毎に、活動も盛んになり、（中）でも、一期生、八期生の結束が目立つ。数年来、卒業生の校内理事も充実して来ました。迫り来る発足三十周年を契機に会の益々の発展と会員諸氏の繁栄を祈り退職の辞とさせて頂きます。

for the next stage
SEKISUI HOUSE
積水ハウス株式会社　神奈川中央支店
菊池原　芳憲（4期生）
〒243　厚木市中町4－4－13
☎0462(23)2621(代)　FAX0462(23)4398

一般木材製材
新建材販売
一般建築請負
株式会社　内田製材工場
代表取締役　内田　一　夫（2期生）
相模原市田名4750　電話0427(62)0179

高木土木株式会社
常務取締役　荒井　敏　章（9期生）
〒229 相模原市横山3-33-10 TEL 0427-52-0722
FAX 0427-52-0723

地域に 世界に 卒業生を

「恋みれん」でデビュー

本荘かほる（本名佐々木薫　二六期生）

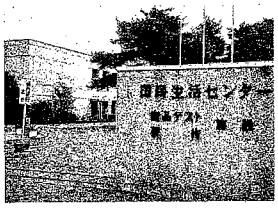
三年前の四月、私は期待と不安を胸に県立相模原高校に入学し、そこで多くの事を学びました。中学校とは違って勉強も難しくなり、受験の厳しさというのも改めて感じさせられました。三年間と言っても今思えば、あっという間に過ぎてしまい、やり残したこともたくさんあるような気もしますが、それなりに充実した時間を過ごせたと思っています。県相に入って、私がとても驚いた事は相翼祭や球技大会などの学校行事に対して、全校で意欲的に取りくんでいるという事です。それだけに私にとっても、きっと他の卒業生にとっても思い出深いものになっていることと思います。そんな高校生活と平行して私は小さい頃から習っていた歌の勉強も続けていました。十年以上も好きで続けてきたことだったので、進路を決めるにあたっては、私もずい分悩みましたが、歌の道をあきらめて別の職業に就こうと決心し、大学進学を選び受験しました。そして、今年の四月、大学に進学しました。ですが、ちょうど同じ時期に私が六才の頃から通っていた歌謡教室の先生からレコーディングのお話をいただきました。まわりの方から芸能界がどんなに大変であるかは聞かされていたのですが、やはり好きだった歌の道に進もうと決心し、七月四日にキングレコードから「恋みれん」という曲で、歌手としてデビューすることになりました。今年の春まで高校生だった私には、社会に出て仕事をするという事が、どんなに大変なことであるか、わかっていたつもりでしたが、実際、このお仕事をはじめて、自分の考えが甘かったと、つくづく感じさせられました。人と人との関係というのは、最も大切なものであるだけに難しいものだと思います。その中でも、支持してくれる人もいれば、そうでない人もいます。自分の思いどおりにいかない事もたくさんあります。自分がどれだけ多くの人に、支持してもらえるかというのは、これからの自分自身の行動に、比例するものだと思います。歌手としても、歌を通してどれだけ人に、詩を伝えられるかというのが、私にとっての大きな課題です。人を感動させる歌を歌うというのは、容易なことではありません。自己満足で終わってもいけないし、それを表現するのは、とても難しいことです。今は、まだわからないことも多く、戸惑うことばかりですが、まわりの人が応援してくれているということを忘れずに一生懸命頑張っていこうと思っています。

わたしたちの街

国民生活センター

秋風さわやかに吹きぬける九月の初旬、緑豊かな渕野辺公園にある国民生活センターを尋ねました。

同施設は渕野辺キャンプ跡地の一画（一万三千坪）広々とした緑の中に二館（テスト棟、研修棟）に分かれて、昭和五十五年に経済企画庁管轄のもと設立されました。



世の中が多様化、複雑化されるに従い、発生する消費者問題に対応し、国民生活安定及び、向上に寄与するために、国民生活に関する情報を提供し、調査研究を行って、役立ってもらうことを目的としています。

では、具体的にどういうことが行われているかを紹介します。

テスト棟では、第一に商品比較テストです。

大きな物は家、自動車から家庭電気製品、日常の食物にいたるまで、あらゆる商品が対象となります。

商品比較テストとは、同じ機能をうたった商品を横並びに一つづつ買ってきてテストをします。私達がそのテスト結果を知る方法としては、同センターで発行している「たしかな目」という雑誌があります。また、毎週水曜日の午前十一時二十五分から五分間、日本テレビで放映されています。

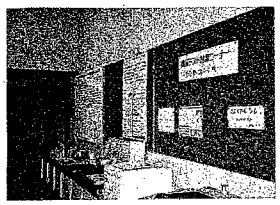
第二には、各地にある消費生活センターなどに寄せられた商品のクレームに関しての事実調査があります。これを苦情処理テストといいます。これらのテストを行う設備が様々あり、屋内だけでなく、広い敷地を利用し、古くは太陽熱を利用した温水機、最近ではパノラマアンテナ等の放置テストが屋外でも行われていました。

一方、研修棟では、消費者問題を勉強する方々のため、様々な講座等に利用できる研修室があります。二百二十人も収容できる講堂を初め大中小の研修室及び七十五の宿泊ルームも備えられています。又、数万冊の図書資料が収蔵されている図書室もあります。

毎日の消費生活の中で、国民生活センターが深くかかわっていることを感じました。

なお十人以上であれば電話予約で同センター内が見学できるとのことです。

取材／林田照代（一期生）
中里寿江（一期生）
本田悦子（二期生）



寄付者名簿

単位：円

服部　洋子	2,000	柴田　陽一	1,000	大橋　恒一	1,000	山口　隆一	3,000
合沢　英樹	3,000	石川　朋子	3,000	安藤　文雄	1,000	小室　透	2,000
加藤　浩央	2,000	黒沼　貴明	5,000	山本　悦章	1,000	宮崎　直美	1,000
小松恵美子	5,000	新出　貞夫	1,000	本島　美晴	1,000	武内久美子	1,000
長井　哲夫	1,000	西山　文芳	1,000	関田　久子	5,000	宮崎　秀樹	10,000
藤本　究	2,000	中島　理志	1,000	越阪部和子	3,000	安田真粧美	3,000
藤本　洋	2,000	赤間　二郎	5,000	伊藤　聰	2,000	小方　義男	10,000
山本　和男	5,000	砂山由美子	1,000	伊藤　安夫	3,000	野田　修	3,000
中田　愛	2,000	由井　省次	5,000	古市　寿美	1,000	上村　直子	2,000
小高　正樹	3,000	笹木　光久	2,000	中嶋　静	2,000	丸岡　英司	1,000
金子　幸男	1,000	金子あゆみ	2,000	志村　秀俊	3,000	長田けい子	1,000
和田　英明	2,000	向山　輝美	3,000	吉田規美子	10,000	新井　克巳	1,000
佐藤　正一	5,000	山本　邦裕	7,000	柳　詠子	2,000	鈴木　政雄	3,000
山本　博子	3,000	中村　雅夫	3,000	湯浅　治美	2,000	清水　義央	1,000
大谷　泰雄	5,000	谷山　国雄	2,000	西山　茂	5,000	藤崎　浩行	3,000
内出　裕	2,000	西川　初義	3,000	佐藤　龍夫	5,000	賀山　高	5,000
内出　貴之	2,000	佐々木徳康	3,000	小方　勝志	30,000	高田　英治	3,000
村野　兼司	5,000	河井　哲也	2,000	上村　昌弘	2,000	石井　一男	2,000
西尾　洋秀	2,000	長田　敬幸	10,000	尾山　恵子	1,000	大枝　水香	3,000
東山日出雄	3,000	佐藤　敦子	1,000	渡部　茂実	2,000	守屋　陽司	3,000

平成四年度 ご着任職員（敬称略）

伊藤　和久（国）
城山高校より

矢部貞夫（事務長）
県衛生部より

北川　保（校長）
茅ヶ崎高校より

犬塚　達（理）
茅ヶ崎高校より

大島　恵子（理）
相武台高校より

杉崎　晋一（教）
荏田高校より

野村　泰弘（社）
厚木西高校より

川端　隆（理）
〈新任〉

宮下　敦（英）
大沢高校より

川嵜　秀子（音）
〈新任〉

幸田　素子（理）
上鶴間高校より

同期会開催の手引

1，幹事を決める。例、会長１名　副会長２名
　事務局５～１０名
2，住所の確認・調査
3，案内状の作成・印刷・送付
4，クラス連絡委員を決める。
5，案内状の返事の来ない人や欠席の人にクラス委員が電話で連絡する。
6，会場の決定、同期会の内容の検討、二次会の設営
　例、受付の人数を決める、抽選の景品を頼む、インタビューの人選、横断幕を頼む
　名札、胸に付ける花、受付け用の名簿などの準備、費用の計算、式次第の決定
7，先生方に電話で再度連絡を入れる。
8，不明者リストを作る。
9，最終の出席者人数の確認
10，当日
11，幹事で反省会を開く。

式次第の例

一、開会宣言
二、代表幹事の挨拶
三、同窓会名誉会長の挨拶（落合渉先生）
四、同窓会会長の挨拶（佐藤功岳氏）
五、先生方の紹介
六、先生の挨拶（代表で）
七、幹事の紹介
八、同期会会長の挨拶
九、お手伝いの方の紹介
十、校歌斉唱

その他
☆同期会でクラス会開催を勧めると効果的
☆同窓会本部の寄付を募ると割に集まる。
☆同期会の存続のために次回の開催の年を決めておく。
☆子連れを勧める。

お知らせ

クラス会を開いてみませんか

―往復ハガキ代を補助します―

同窓会では、卒業した後に開くクラス会に対して往復のはがき代を補助しています。また、卒業後、一年以内に開くクラス会、同期会には、さらに一クラスにつき一万円を援助しています。一昨年には二十四期生が三月に同期会を開き、昨年は、四クラスでクラス会が開かれました。盛んな同窓会活動となる事を願っての制度ですので、各期、各クラスの皆さん、さまざまな会合を開いていってほしいと考えます。

問合せ
県相同窓会
☎〇四二七（五一）四一三
三原田先生まで

総合広告代理店
―パンフレット、野立看板、各種看板、TV・ラジオスポット、ちらし他―
アイワ広告株式会社
代表取締役　小山雅明（8期生）
〒228 相模原市鵜野森379-2
☎0427-42-2212㈹

◎直売しています。健康に卵をぜひどうぞ。
㈲小川フェニックス養鶏園
代表　小川洪太（1期生）
神奈川県相模原市麻溝台5-14-39
TEL.0427-42-6621　FAX.0427-41-7377

矢敷動物病院
獣医師　矢敷光世（3期生）
〒228 相模原市麻溝台6-26-5
☎0427-45-1143

会員の広場

いつまでもなつかしいあの頃

ワンゲル同窓会

倉地哲郎（三期生）

ワンゲルの同窓会が去る二月八日町田で開かれました。今回はワンゲルの創立期に、苦楽を共にした一期から五期までが集まり、また当時大変お世話になった入江、小沢、村松の三先生にもお忙しい中を出席していただき、総勢二三名もの懐かしい顔が揃いました。

当時のワンゲル部員は、そのほとんどがOB会に入り、登山・キャンプ・スキーにと卒業後も現役時代と変わらず活動をしていましたが、その後しばらく会う機会のなかった人も多く、会場で顔を会わせるなり互いの変貌ぶりに、一瞬「誰だったかな？」と戸惑う場面もみられました。さすがに二〇年という歳月の大きさを実感したものです。

しかし、そこは同じ釜の飯を食べた仲間同志、乾杯がすみ、楽しくもまた苦しかった練習や山行などの思い出話しに花が咲くうち、皆が「昔の顔」に戻っていくのが何とも不思議なものでした。二次会には新たな顔も加わり、またアルコールも更に入って一層にぎやかさを増しました。

この日は五期までの集まりでしたが、次回はもっと若い人達にも声を掛けようという要望も出されました。早くも次回を楽しみに、名残りを惜しみつつ、盛会のうちにお開きとなりました。

在校生の活躍

茶道部

現在県相茶道部は二年生が四人、一年生が六人の計十人で週三回の活動をしています。茶道部というとかにも真面目でおしとやかな部活というイメージがあるかもしれませんが、部員一人一人が色々な個性を持っていて、とても楽しい部活です。私の入部のきっかけは、茶道という自分にとって全くの未知の世界である日本文化に興味を持ったからです。普段の生活の中ではなかなか知ることのできない日本の伝統的な茶の湯の世界をこの機会に是非知りたいと思ったのです。実際入部して初めの頃は先生や先輩の教えられる通りにお稽古をしていましたがだんだんとこの動作は何のためにするのか、ということがわかってきて、多くの作法にもそれぞれきちんとした道理があるんだと思うと、その一つ一つを覚えるのもまた楽しみになりました。現在は部員数が少なくて何かと大変なこともありますが、先生に御稽古をつけていただく回数が増えたり、一、二年生が共に部を支えているという感じでとてもアットホームな雰囲気があり、逆に良いこともあります。また、気になる勉強との両立も十分可能ですし、進路のことで悩んでいても、先輩が良きアドバイザーとなってくれるので、私は茶道部に入ってとても良かったと思っています。今は文化祭が終わり、一段落ついた所ですが、これからは十一月の麻溝高校との交流お茶会に向けて、また新しい御点前の練習と一年生の指導をがんばりたいと思います。文／小山英子（2年生）

関東大会出場権を獲得

神奈川県高校総合体育大会予選会、千五百メートル見事第五位に入賞

真中のゼッケン7117の選手が西琢也君

母校、陸上競技部三年生西琢也君（大野北中出身）は五月十六日に行われた神奈川県高等学校総合体育大会予選会において、千五百メートルに出場し、四分〇一秒八七の好タイムで、見事第五位に入賞、関東大会出場権を獲得した。

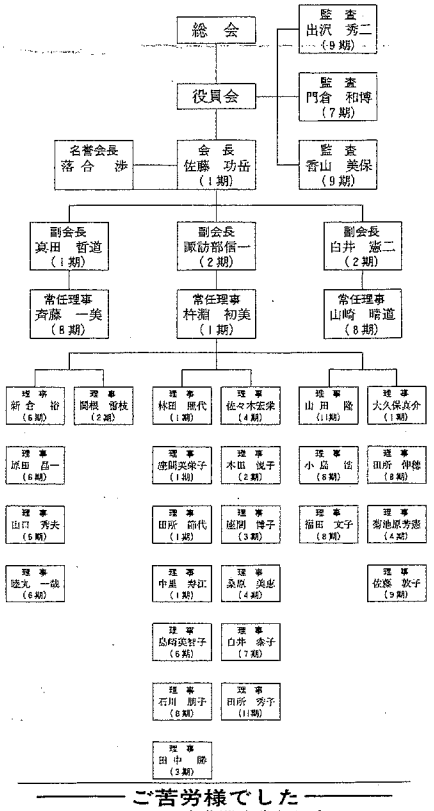
「日頃の練習成果を本番で、しかも、最終学年で出せたことをうれしく思います。」と語ってくれた同君は六月十八日、東京の駒沢競技場で行われた本大会に元気良く臨んでくれたが、惜しくも決勝進出はならず、全国大会への夢は絶たれた。

「全国大会出場を目指してがんばったがレース中〝ポケット〟とされるアクシデントにも見舞われ、力を十分出せずに終わってしまって残念です。」と…。

しかし、顧問曽田先生が「後輩の手本」といわれるように受験生西君は十一月の駅伝大会目指して今日も練習に励んでいる。

文／小島浩（八期生）

県相同窓会組織図



ご苦労様でした

平成4年度退任役員　斉藤雅章常任理事（14期生）

平成3年度事業報告

渉外部会

1. 25期生の名簿データの入力（5月～7月）
2. 住所不明者及び変更届出者のデータの修正作業（5月～9月）
3. 役員親睦旅行の実施
4. 渉外部メンバーの補強活動及び活動事業のPR活動
5. 渉外部会　年末反省会の実施

No.	月／日	事業内容
1	4／18	渉外部会
2	5／19	渉外部会
3	6／21	25期入力
4	6／27	25期入力・住所不明者入力
5	6／28	25期入力
6	6／30	25期入力・25期A組タックシール印刷
7	7／1	25期入力
8	7／2	住所変更入力
9	7／4	渉外部会
10	7／5	住所変更入力
11	7／7	住所変更入力
12	7／8	住所変更入力
13	8／29	渉外部会
14	9／10	住所不明入力
15	9／13	住居表示変更入力
16	12／19	渉外部会
17	3／17	渉外部会
18	3／23	住所不明者入力

組織部会

1. 24期、25期のクラス委員に同窓会活動の説明会を開催する。
2. 同窓会、クラス会等の開催ノウハウのマニュアル作成について。
3. 各事業所等における連絡責任者の明確化の依頼。
4. 新規組織化出来そうな事業等の確認作業をする。
5. 県相学校行事に参加及び協力する。

会議及び活動関係結果報告

No.	月／日	事業内容
1	5／21	クラス会用に14期C組名簿を送付
2	6／	同窓会、クラス会等の開催ノウハウのマニュアル作成について。
3	7／21	組織懇会を開催、今後の展開について会中。
4	7／23	サッカー部の応援依頼　綾瀬市役所
5	7／25	サッカー部の応援依頼　北里大学　相模原市役所
6	8／1	サッカー部全国大会出場の応援
7	11／18	美術部OB会開催への協力
8	1／30	美術部会（県相、OB会）クラス会の開催補助送付

総務部会

1. 定例役員会並びに常任理事会の設営、開催及び動員
2. 第13回定期総会資料の作成
3. 第6号同窓会新聞の発行と送付
4. 同窓会入会記念品の作成配布

会議録

平成3年4月26日（金）第1回定例役員会　①各部会報告
②第13回定期総会の件

5月15日（水）第2回定例役員会　①各部会報告
②第13回定期総会の件

5月19日（日）第13回定期総会

6月22日（土）第3回定例役員会　①各部会報告
②第6号同窓会新聞の件

7月26日（金）第4回定例役員会　①各部会報告
②第6号同窓会新聞の件
③現役サッカー部インターハイ出場の件

9月5日（木）第5回定例役員会　①各部会報告
②第6号同窓会新聞の件
③インターハイ出場の件

11月21日（木）第6回定例役員会　①各部会報告
②第6号同窓会新聞校正の件

12月18日（木）第7回定例役員会　①各部会報告
②平成3年度卒業記念品の件
③第6号同窓会新聞発行の件

平成4年3月10日（火）第8回定例役員会　①各部会報告
②平成3年度決算の件

平成3年度収支決算報告書

自平成3年4月1日
至平成4年3月31日

1．収支報告書　（単位：円）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,679,128	会報発行費(注5)	1,288,407
入会金(注1)	2,145,000	事業活動費(注6)	324,982
寄付金(注2)	235,655	交際費(注7)	539,720
広告料(注3)	165,000	会議費(注8)	8,000
受取利息	148,986	PC維持費(注9)	100,000
雑収入(注4)	1,500	名簿管理費(注10)	100,000
		運営費(注11)	130,000
		事務費(注12)	54,622
		印刷費(注13)	103,000
		通信費(注14)	10,330
		小計	2,659,061
		次年度繰越金	5,716,208
収入合計	8,375,269	支出合計	8,375,269

1．注意事項

（注1）同窓会入会金　429名分　26回生
（注2）同窓会会員寄付金　67件
（注3）新聞掲載広告料　11件
（注4）タックシール代　1件
（注5）新聞印刷・発送費
（注6）クラス会・役員会補助等
（注7）入会祝品代等
（注8）会館使用料等
（注9）コンピューター維持費（積立金）
（注10）コンピューター入力費用
（注11）各部会運営費等
（注12）コピー料・事務用品等
（注13）封筒印刷費
（注14）ハガキ・切手代等

2．財産目録

（1）現金　107,592円
（2）定期預金　3,000,000円
普通預金　2,337,786円
郵便振替　270,830円
（3）ディスクユニット　一式　（平成元年購入　価格222,000）

3．別途積立

PC維持費積立金　100,000円

4．部活動派遣基金　2,555,452円

平成3年度同窓会会計を以上のとおりご報告致します。

平成4年3月31日

神奈川県立相模原高等学校同窓会
会長　佐藤功岳
副会長（総務担当）　真田哲道
理事（会計担当）　関根雪枝

スタッフ募集（同窓会からのお願い）

県相同窓会では、コンピュータの会員登録作業や新聞編集などのお手伝いをしていただける方を募集しています。ちょっとの時間、同窓会活動の発展向上のために使ってみませんか？

また、同窓会新聞（年1回発行）の広告（1件15,000円）も受け付けておりますので、お気軽にご相談下さい。

県相同窓会　☎0427(52)4133 原田先生まで

ＪＲ相模原駅前で40年
寿司儀
佐藤　肇（4期生）
相模原市相模原4-1-21☎0427(52)3011

都市空間の創造　それは感性です！
木造住宅から鉄骨・鉄筋の集合住宅、商業ビル
企画・設計・監理
株式会社アーバン建築設計事務所
URBAN INCORPORATED ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE
代表取締役　諏訪部　信一（2期生）
〒229 相模原市橋本6丁目8番4号　本沢ビル4階
☎0427-71-1901 FAX0427-71-2096